

2024年11月8日

京都大学総合博物館では特定研究員を募集いたします

職種	特定研究員（特定有期雇用職員）
募集人数	1名
勤務場所	京都大学総合博物館（所在地：京都市左京区吉田本町） （変更の範囲）大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等
専門分野	陸生脊椎動物の系統分類学
職務内容	「インドシナ山岳部における陸生脊椎動物の種多様性」プロジェクトに関する業務 本プロジェクトは長尾自然環境財団の助成により、ベトナム科学技術アカデミー生態学 生物資源研究所とラオス国立大学環境学部の研究者との共同研究プロジェクトとして 実施しています https://www.nagaofoundation.or.jp/comprehensive/species-diversity.html (1) ベトナムとラオスの山岳部で陸生脊椎動物の種多様性調査（令和7年度にベトナム 2回、ラオス1回、各2週間程度の野外調査を計画）と標本・サンプル作成の実施 (2) 標本・サンプルを用いて形態・遺伝子・分布などに基づく種多様性に関する研究 (3) ベトナムとラオスでの標本収蔵状況の改善に関する業務 (4) ベトナム・ラオス・日本でのシンポジウムやセミナーの実施に関する業務 (5) ベトナム・ラオスからの研究者招へいと共同研究実施に関する業務 (6) 出版物やウェブサイトなどを通じた研究成果のアウトリーチに関する業務 (7) プロジェクトの連絡調整、進捗管理、各種書類や報告書作成に関する業務
応募資格	以下のすべてを満たすこと (1) 専門分野における博士の学位を有すること（見込みを含む） (2) 専門分野における優れた研究業績を上げ、優れた能力、見識、意欲を有すること。 小型哺乳類（真無盲腸目、齧歯目、登木目、翼手目など）、爬虫類、両生類のいづ れかの分類群の研究経験を有することが望ましい (3) プロジェクトを実施するために国内外の研究機関との連携に取り組めること (4) プロジェクトに関わる各種書類の作成や連絡調整を英語と日本語で行う能力を有 すること (5) 野外調査の経験と技能を有すること (6) 陸生脊椎動物の標本作成の経験と技能を有すること (7) 博物館標本の管理手法についての知識や技能を有することが望ましい
雇用期間	令和7年4月1日～令和8年4月30日 更新なし 採用決定時に博士の学位を有する場合は、相談の上で雇用開始日を早めることがある
試用期間	あり（6ヶ月）
勤務形態	専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当） ・専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、週5日8:30～17:15勤務 （休憩12:00～13:00）

・超過勤務を命じる場合あり

休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日

野外調査を含む 2～3 週間のベトナム・ラオスへの渡航を令和 7 年度に計 3 回計画

共同研究や標本収蔵状況の改善、シンポジウムやセミナー実施のため、ベトナムとラオスへの 1～2 週間の渡航を令和 7 年度に計 1～2 回計画

給与等	本学支給基準に基づき、能力・経歴により決定（年俸制）（月額 35 万円程度）
手当	なし
社会保険	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入
選考方法	<p>以下の提出書類に基づいて書類選考を行い、書類選考通過者に対して、面接をオンラインまたは対面で行います。対面での面接の際の交通費・滞在費等は応募者の自己負担とします。面接ではこれまでの研究と今後の業務に対する抱負について 20 分のプレゼンテーションを行い、その内容と提出書類をもとに口頭での質疑を実施します。プレゼンテーションは自身のパソコン等を用い、対面の場合はプロジェクター投影、オンラインの場合は Zoom の画面共有を用います。プレゼンテーション作成時には面接者が、後に述べる 5 分間動画を事前に視聴していることに留意してください。面接は日本語で行います。面接と質疑は合わせて 1 時間を予定しています。詳細は書類選考通過者に電子メールで連絡します。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 履歴書（写真添付、高校卒業以降の学歴・職歴・研究歴を記載。電話番号・電子メールアドレス、国内外での野外調査・留学・勤務等の経験、学芸員資格の有無、所属学会、その他プロジェクトに参考になる事項を記入のこと）(2) 過去 2 年以内の英語能力を示す書類があればその写し(3) 日本語を母語としない者は日本語能力を示す書類の写し。日本語能力試験 N2 相当以上であることが望ましい。(4) その他の語学能力を示す書類があればその写し(5) パソコン、ソフトウェア、Web デザイン等の能力や実績があるときは、その説明。また、その能力を示す書類があればその写し(6) 研究業績一覧（学術論文 [査読有]・学術論文 [査読無]・総説・著書・講演・学会やシンポジウムでの発表・特許・アウトリーチに関する活動・その他に分け、発表順に記載。出版予定のものには、そのことがわかる出版社や編集者等の承諾書やメール等を添えること。共著や共同発表の場合は全ての著者・発表者を記載された順に記すこと。学会やシンポジウムでの発表なども評価の指標になるので、省略しないで全てを記載すること）(7) 科学研究費補助金等の競争的資金の獲得状況(8) 主たる研究業績 3 編(9) 主たる研究業績 3 編それぞれについて日本語タイトルと 1000 字程度の要旨(10) これまでの研究の概要（日本語で 1500 字程度）(11) 「インドシナ山岳部における陸生脊椎動物の種多様性」プロジェクトにおける研究・業務についての抱負（英語で 5 分以内で作成した動画）(12) 申請者本人について問い合わせできる 2 名の氏名、所属機関、電話番号と電子メ

ールアドレス

- 応募締切 2024年12月25日(水曜日)17:00必着
- 応募方法 選考方法に示した書類(1)~(7)、(9)~(10)、(12)を1つのファイルにまとめ、通しのページ番号を付したPDFファイル、(8)主たる研究業績3編それぞれのPDFファイル、(11)研究・業務についての抱負の動画ファイルをファイル転送サービスで提出。また、応募に際してのカバーレターのPDF(本人が署名すること、電子署名も可)を作成し、ファイル転送サービスのアドレス等を記載した電子メールとあわせて提出すること。カバーレターや提出書類はその内容だけでなく、記載方法やフォーマットについてもプロジェクト運営に関わる能力の評価に用いることがある。提出PDFは、面接者がノートPCあるいは外部モニターで閲覧するため、カラーやデザインに配慮したものであることが望ましい。
- (8)について、PDFファイルでの提出が出来ない場合は、郵送先について事前に電子メールで問い合わせること。著書等の現物を提出し、選考終了後の返却を希望する場合は、その旨をカバーレターに示すこと(送料は京都大学総合博物館が負担します)。
- 提出先 京都大学総合博物館
E-mail: 560museum-jinji@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
電子メールの件名は「インドシナ脊椎動物・研究員応募」とすること
受領確認を電子メールで通知します
- 問い合わせ先 京都大学総合博物館 情報発信系 教授 本川雅治
E-mail: motokawa.masaharu.6m@kyoto-u.ac.jp
TEL 075-753-3287
- その他 職務内容や応募資格に関する問い合わせは、原則として電子メールで行ってください。
提出いただいた書類は、採用審査にのみ使用します。
正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。
応募されたファイルは適切に管理し、選考終了後に破棄します。
採用内定者は、博士の学位取得を示す書類の原本を提出してもらいます。原本書類は確認後に返却します。
京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。